

平成 27 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名	
一般	10	05	01	0402	生涯学習講座開催事業	
総合計画	分野	人づくり				
	政策	3-3	生涯学習の推進			
	施策	1	自主的学習の推進			
目的	生涯学習講座の開設によるひとづくり					
対象	市民及び市内在勤者					
意図	市民の課題解決のきっかけづくりなど生涯学習の場や機会を提供する					
事業概要 …上記目的を実現するための事業手法を記載すること						
○まなび学園、石鳥谷生涯学習会館、大迫・東和の各総合支所・振興センターでの生涯学習講座の開設 ・高齢者学級・・・まなび学園、石鳥谷生涯学習会館、大迫・東和の各総合支所で開設 ・女性学級・・・まなび学園、石鳥谷生涯学習会館、大迫・東和の各総合支所で開設 ・市民講座・・・まなび学園、石鳥谷生涯学習会館、大迫・東和の各総合支所で開設 ・振興センターでの生涯学習・・・振興センターで開設						
市民参画の有無 [無]						
市民協働の形態		共催 後援・協賛	実行委員会・協議会 補助・助成	事業協力・協定 委託		
活動指標（上記「事業概要」に対応）		単位	区分	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)
①	講座開催数	回	計画	400	350	255
			実績	259	329	
②			計画			
			実績			
③			計画			
			実績			
成果指標（上記「意図」に対応）		単位	区分	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)
①	受講者アンケートによる、もっと学んでみたいと思う人の割合	%	目標	80.0	80.0	80.0
			実績	95.7	99.2	
②			目標			
			実績			
③			目標			
			実績			
成果指標の達成度	○	目標値より高い	概ね目標値どおり	目標値より低い		

成果指標の達成度の要因分析 (新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載)		
学習機会の提供・きっかけづくりにより、成果として市民の生涯学習活動への意欲醸成の達成度を測る指標として指標設定したものであるが、内容の充実した講座等学習機会の提供に努めた結果、90%を超える高い割合を達成した。		
目的妥当性	公共関与の妥当性	・市民のライフスタイルや生活課題が多種多様化している中で、課題解決のためのきっかけづくりなど学習機会を提供し、市民の生涯学習への取り組みを支えることはひとづくりにつながり妥当である。
	○ 妥当である	
	見直し余地がある 妥当でない	
有効性	成果の向上余地	・生涯学習機会を提供することにより、趣味や生きがいのため学習として個人を高めるだけでなく、地域づくりへの関心や連帯感の向上が期待できる。
	○ 向上余地がある	
	向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地	・事業費は講座数の削減により、これ以上削減余地はない ・職員が関わるのは、コーディネート、講師との連絡調整などが主な業務であり、人件費の削減余地はない
	事業費の削減余地がある 人件費の削減余地がある	
	○ どちらも削減余地がない	
公平性	受益と負担の適正化余地	・受益者は、特定の市民ではなく、希望する全市民の誰もが対象であることから、受益機会は均等である ・講座開催の最低限の経費となる講師の謝礼経費については公費負担としているため適正である
	受益機会の見直し余地がある 費用負担の見直し余地がある	
	○ 適正である	
総合評価 …上記評価結果の総括		
生涯学習のきっかけづくりや学習機会を提供するため各種講座を開催し、市民の自主的学習への意欲を持つを市民の育成を図った。		

平成 27 年度 事業説明資料 【 事後評価 】

担当部署 部名 生涯学習部 課名 生涯学習課 担当係長 上野 剛 内線 401

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

(単位：千円)

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	10	05	01	0402	生涯学習講座開催事業

単位：千円

		26年度 決算額(A)	27年度 決算額(B)	28年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費		23,686	24,082		396
財源内訳	国・県				
	地方債	900	1,000		100
	その他				
	一般財源	22,786	23,082		296

事業期間	○	単年度繰返	期間限定	[平成 年度 ~ 平成 年度]
------	---	-------	------	-----------------

部重点施策における目標

生涯学習の推進に努めます。

事業開始の背景・経緯

市内の施設や地域資源などの学習資源を活用し、市民が自主的に学べる環境づくりを進めるとともに、市民が自らのニーズに基づき学習した成果を地域に還元し、まちづくりにつなげることが求められている。

事業概要

○まなび学園、石鳥谷生涯学習会館、大迫・東和の各総合支所・振興センターでの生涯学習講座の開設

- ・高齢者学級・・・まなび学園、石鳥谷生涯学習会館、大迫・東和の各総合支所で開設
- ・女性学級・・・まなび学園、石鳥谷生涯学習会館、大迫・東和の各総合支所で開設
- ・市民講座・・・まなび学園、石鳥谷生涯学習会館、大迫・東和の各総合支所で開設
- ・振興センターでの生涯学習・・・振興センターで開設

事業を展開する上での課題、留意事項 / 意見・要望等

次年度の地域（振興センター単位）の生涯学習推進体制

- 1 現行の体制
 - (1) 振興センターへの職員配置：市職員1名
 - (2) 生涯学習事業の事務取扱：振興センター配置職員が事業の企画立案・実施を担当
- 2 次年度の体制
 - (1) 各コミュニティが主体となり振興センター単位の生涯学習事業を実施
 - (2) 市は事業の企画立案・実施の現行の支援を行うとともに、研修等で人材育成に努める

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。
【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】



①富士大学花巻市民セミナー 49千円

報償費46、役務費3

【概要】大学の持つ高度な教育研究機能を活用して、市民の生涯学習を推進口

【講座数】1講座6回 まなび学園で開催

②岩手大学教育学部出前講座（ゼロ予算）

【概要】大学の持つ高度な教育研究機能を活用して、市民の生涯学習を推進

③振興センター生涯学習事業 3,268千円

賃金27、報償費2,604、需用費437、役務費169、委託料10、借上料及び賃借料21

【概要】市民の最も身近な生涯学習拠点である27の振興センターでの講座開催

【講座数】H27 204講座522回（※共催含む）口

④高齢者学級開催事業 1,543千円

賃金4、報償費871、旅費56、需用費420、役務費33、使用料及び賃借料159

【概要】60歳以上の市民を対象とした、趣味や生きがいなどを目的とした講座開催

【講座数】H27 4講座204回

⑤女性学級開催事業 194千円

報償費128、需用費55、役務費10、使用料及び賃借料1

【概要】家庭や地域社会で心身ともに豊かで明るく楽しく生活していくために、必要な知識や体験を、多様な学習活動を通じて学びあう。

【講座数】H27 4講座23回

⑥市民講座開催事業 1,244千円

報償費483、需用費401、役務費48、委託料299、使用料及び賃借料13

【概要】初めての生涯学習の支援、趣味や地域的課題など、初心者向けの講座

【講座数】H27 25講座91回)

⑦共通経費（社会教育指導員8人等）17,784千円

報酬15,236、職員手当375、共済費2,173